



# フローティングディスクローター 取扱説明書

商品番号：06-08-0060

適応車種及びフレーム番号

PCX	: JF28	1000001~
	: JF56	1000001~
PCX150	: KF12	1000001~
	: KF18	1000001~
Dio110	: JF31	1000001~
GROM	: JC61	1000001~1299999
	: JC61	1300001~
MSX125		
MSX125SF		

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ～特長～

- ・ホイールハブ部をアルミ製とする事で純正ローターの1ピースタイプに比べて軽量化されています。
- ・ブレーキング時、ローター本体に熱が生じると摩擦面の精度が低下し、ディスクローターの性能低下を引き起こすことがあります。フローティングローターの場合、ホイールハブと摩擦面を切り離すことで熱変形を最小限に抑え、安定したブレーキング性能を維持する事が出来ます。フローティングディスクローターの摩擦面には錆びに強く、耐久性に優れたステンレス鋼を採用。
- ・ノーマルのディスクローターと交換するだけなのでお手軽にカスタムが楽しめます。

## ご使用前に必ずお読み下さい

この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

車両に部品を取り付けた後、走行をする前にブレーキパッドがディスクにしっかり当たり、ブレーキが完全に効くまでブレーキレバーを操作して下さい。(この作業を無視する事により、事故につながる恐れがあります。)

新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。効きに注意しながら走行を行って下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあったHONDA純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- ・損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

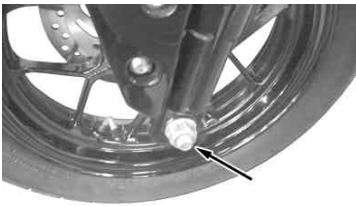
## ~ 商 品 内 容 ~



部 品 名	個 数
ディスクローター	1

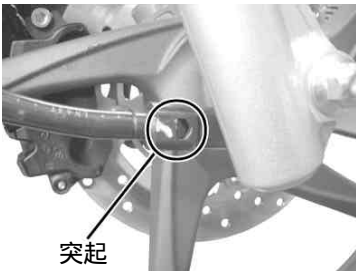
## ~ 取 り 付 け 要 領 ~

1. アクスルナットを緩める。



### Di o 1 1 0 の場合

突起部を押しスピードメーターケーブルを引き抜く。



突起

2. 水平な場所でメインスタンドを立て、ジャッキ等で支えてフロントホイールを浮かせる。  
3. アクスルナット、フロントアクスルを外し、フロントホイールを取り外す。



4. ブレーキディスクソケットボルトを取り外す。

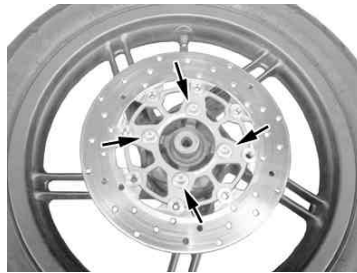


5. レーザーマーキングがある面を上に向けてフローティングディスクローターをホイールに取り付け、ブレーキディスクソケットボルトを規定トルクで締め付ける。

△警告：取り付け前に必ずディスクローターを脱脂する事。

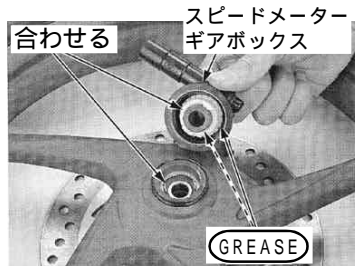
△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：42N・m (4.3kgf・m)



### Di o 1 1 0 の場合

溝部をリテーナーの突起部に合わせてスピードメーターギアボックスをホイールハブに取り付ける。(Di o 1 1 0 の場合)



合わせる

スピードメーター  
ギアボックス

GREASE

6. フローティングディスクローターをブレーキパッドの間に、スピードメーターギアボックスの溝部をL.フロントフォークのストッパに合わせ (Di o 1 1 0 の場合) フロントホイールを取り付ける。

7. アクスルシャフト摺動部に薄くグリスを塗布し、取り外しと逆手順でフロントフォークにフロントホイールを取り付け、フロントアクスルを規定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク

PCX / Di o 1 1 0

: 59N・m

(6.0kgf・m)

GROM / MSX 1 2 5

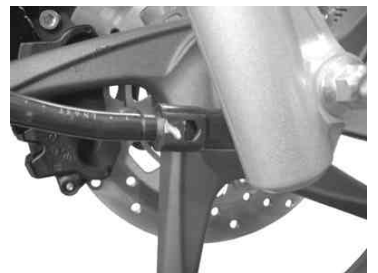
: 54N・m

(5.5kgf・m)



### Di o 1 1 0 の場合

スピードメーターケーブルの突起部をギアボックスの穴に合わせてスピードメーターケーブルを接続する。



8. 各部の締め付けを確認しブレーキの作動を確認する。  
走行前に必ず安全な場所で試運転を行う事。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL

0721 25 1357

FAX

0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル

0721 25 8857

URL

http://www.takegawa.co.jp